

別紙 1－1 様式第 1 号（第 4 の 2 関係）

国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業  
（飼料生産組織の運営強化支援のうち飼料生産組織の基盤強化支援）  
実施計画書

1 事業実施主体の名称

事業実施主体名	
代表者氏名	

2 組織の運営強化方針

（１）組織の設立に至る経緯

--

（２）組織運営の現状と課題

--

※組織の体制や活動状況（飼料の生産・販売、作業受託等の取組内容と規模等）、収支状況、作業機械導入資金の準備状況、労働力確保の状況、作業安全対策の状況の記載は必須。

（３）組織の運営強化に向けた推進体制、取組内容

--

※取組内容は、目標年度までの全体像とともに、特に初年度の取組内容を詳しく記載。

※地方公共団体等への調整状況も記載すること。地方公共団体等を含めた検討会を構成している場合は、当該検討会の体制図の添付でも可。

（４）事業実施により見込まれる組織及び地域への効果

--

※中・長期に渡る経営の展望についても記載。

(5) 地域計画への位置付け、又は今後の位置付けの見込み状況

(例) ○○市の○○地区において、●●年●月に地域計画に位置付けられている。  
 (例) ○○市の○○地区において、●●年●月の地域計画の協議に参加した。

※地域計画に関する資料等を添付すること。

3 成果目標の設定

成果目標	取組前 ○年度	目標年度 ○年度
収穫作業を行い販売した飼料、 収集作業を行い販売した稲わら、 飼料生産収穫に係る作業受託、 稲わら収集に係る作業受託 の合計売上高 (1)	円 [算定根拠]	円 [算定根拠]
上記の飼料及び稲わらに係る作業面積	ha (うち、所有又は借り受けた ほ場での作業面積 ha)	ha (うち、所有又は借り受けた ほ場での作業面積 ha)
上記の飼料生産収穫及び稲わら収集に 係る労働時間 (2)	年間 人・時間	年間 人・時間
飼料生産収穫及び稲わら収集に係る 労働生産性 ((1) ÷ (2))	円/人・時間 [算定根拠]	円/人・時間 [算定根拠]

※取組前の数値については、直近3カ年のうち最も高い売上高を記載すること。

※規模拡大要件に関する記載のみでも可。省力化要件での応募は、全ての記載が必須。

4 ○○年度組織の運営強化に要する経費 (円)

取組内容	総事業費			
	D=A+B+C	国庫補助金 A	実施主体負担 B	その他 C
(1) 飼料の生産や稲わらの収集作業の拡大・省力化に必要な機械の導入				
(2) 簡易倉庫の設置				
計				

※積算内訳を添付すること。

## 5 ○○年度組織の運営強化に向けた月別スケジュール

取組内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考

※2（3）や8（1）に記載した取組内容をどのようなスケジュールで進めるか記載すること。

※月別の欄には取組時期に矢印（→）を記載すること。

## 6 ○○年度 組織の運営強化に係る取組内容と経費の内訳

### （1）飼料の生産や稲わらの収集作業の拡大・省力化に必要な機械の導入

取組の内容	実施時期	経費内訳	備考

※拡大予定のは場位置図、拡大予定分の生産販売契約の一覧及び作業受託契約の一覧、見積書の写し、費用対効果分析等を添付すること。

### （2）簡易倉庫の設置

取組年度に収穫した飼料（稲わら含む。ラップされたものは除く）のうち前年度からの増加分を保管するビニールハウス等の資材費

取組の内容	実施時期	経費内訳	備考

※見積書の写し等を添付すること。

## 7 機械・機器導入計画

### （1）共通

#### ① 運営強化に必要な機械・機器の導入計画

名 称	型式	数量	導入年度	対象作業	備 考

※交付等要綱第32の（9）に該当する機械等を導入等する場合、導入時の仕様書にシステムサービス提供者と「農業分野におけるA I・データに関する契約ガイドライン（令和2年3月農林水産省策定）」に準拠した契約を締結する旨、記載すること。

※トラクター又はコンバインの導入を希望する場合は、以下の「参考」を確認の上、希望する農機のメーカーの状況についてチェックをすること。「整備していない」にチェックをした場合は、整備しているメーカーの農機に変更するか、導入を希望する農機でなければ事業目的を達成できない旨を別途証明する資料を提出すること。なお、「整備していない」に

チェックをした場合でも、導入を希望するトラクター又はコンバインのメーカーが農機データを取得するシステムを備えた製品を製造していない場合は、メーカーの変更等の対応は不要。

- ・導入を希望する農機のメーカーが、自社 web サイトや農業データ連携基盤への表示等を通じて、データを連携できる環境を

☐ 整備している      ☐ 整備していない

(参考) API を自社 web サイトや農業データ連携基盤への表示等を通じて、データを連携できる環境を整備している農機メーカー

(令和 7 年 11 月時点農林水産省調べ、五十音・アルファベット順で記載)

国内メーカー：井関農機株式会社、株式会社クボタ、三菱マヒンドラ農機株式会社、ヤンマーアグリ株式会社

海外メーカー：AGCO Corporation(Fendt、MASSEY FERGUSON、Valtra)、CLAAS KGaA mbH、CNH Industrial N.V. (Case IH、New Holland、Steyr)、Deere & Company(John Deere)、SDF Group(SAME、DEUTZ-FAHR、Lamborghini)

## ② 導入機械・機器の月別稼働計画

機械・機器の名称	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備 考

※月別の稼働計画日数を記載すること。

※機械の場合は年間作業見込面積等を備考に記載すること。

## (2) 購入方式の場合

対 象 機 械	機種名		数量	台
	型式名			
	対象作物、対象作業			
	利用計画面積	(ha)		
	選定理由			
	能力決定根拠			
	※能力決定に当たっての計算過程を記載			
	同様な作業機械の保有状況 (有する場合：型式・利用面積・取得年月 ・台数など)			
	新品・中古の区分			

	中古の場合、残存年数※	
購入価格（税抜き）	①	(円)
	うちオプション分（名称）	(円)
購入価格（税込み）		(円)
購入費助成申請額	①×1/2	(円)
購入物件保管場所		
備考※		

※中古の場合、残存年数は、法定耐用年数－経過年数（年単位とし、1年未満の端数は切り捨てる）を計算して記入し、2年以上の場合に限る。また、新品ではなく中古を導入する理由を記載すること。

(3) リース方式の場合

対象機械・機器	機種名				数量	台
	型式名					
	対象作物、対象作業					
	利用計画面積	(ha)				
	選定理由					
	能力決定根拠					
	※能力決定に当たっての計算過程を記載					
	同様な作業機械・機器の保有状況 (有する場合：型式・利用面積・取得年月・台数など)					
リース期間（開始年月～終了年月）		年 月	～	年 月	ヶ月	
リース物件取得価格（税抜き）		①		(円)		
リース期間終了後の残存価格（税抜き）		②		(円)		
リース料助成申請額		③		(円)		
リース諸費用（税抜き）		④		(円)		
消費税		⑤		(円)		
事業実施主体負担リース料（税込み） ①－②－③＋④＋⑤				(円)		
リース物件保管場所						
備考						

リース料助成申請額は、下記の算式のいずれか小さい額を記入し、欄にチェックをいれること。

I	リース物件価格 × リース期間 / 法定耐用年数 × 補助率（1/2以内）
II	（リース物件価格 － 残存価格） × 補助率（1/2以内）

## (4) レンタル方式の場合

対象器具・機材	器具・機材名		数量	(台)		
	型式名					
	対象作物、対象作業					
	選定理由					
	能力決定根拠 ※ 能力決定に当たっての計算過程を記載（成果目標との整合を図ること）					
	同様な作業器具・機材の保有状況 （有する場合：型式、取得年月、数量など）					
レンタル期間 （開始年月～終了年月）	年	月	～	年	月	ヶ月
レンタル料助成申請額（税抜き）						(円)
消費税						(円)
事業実施主体負担レンタル料 （税込み）						(円)
対象器具・機材の保管場所						
備考						

## 8 取組期間全体の事業計画

## (1) 3か年の取組事項

取組年度	取組内容
1 年目 〇〇年度	
2 年目 〇〇年度	
3 年目 〇〇年度	

## 9 事業実施主体の取組状況

## (1) 直近3か年における自ら収穫・販売した飼料の売上高及び作業面積

上段：円／下段：ha

作物名	〇年度	〇年度	〇年度	備 考


※収集作業から販売まで行った稲わらの売上高及び作業面積も含む。

(2) 直近3か年における飼料生産収穫に係る作業受託の売上高及び作業面積

上段：円／下段：ha

作物名	○年度	○年度	○年度	備 考

※稲わら収集に係る作業受託の売上高及び作業面積も記載すること。

※備考欄には、委託農家戸数を記載すること。

10 他の施策等との関連

(1) 配合飼料価格安定制度への継続加入

該当するものにチェックすること。

<input type="checkbox"/> 継続する	<input type="checkbox"/> 継続しない	<input type="checkbox"/> 該当しない（畜産農家ではない等）
-------------------------------	--------------------------------	---

(2) 「環境負荷低減のチェックシート」の実施※<sup>1</sup>

「環境負荷低減のチェックシート」に基づく生産活動を実施していること。	<input type="checkbox"/>
------------------------------------	--------------------------

※<sup>1</sup> 国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業補助金交付等要綱（令和7年2月21日付け6畜産第3070号農林水産事務次官依命通知）に定めるチェックシート

(3) 自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストと農業版BCP

自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストに基づく確認又は農業版BCP（事業継続計画）の策定を行っている場合はチェックすること。	<input type="checkbox"/>
--	--------------------------

(4) 労働環境改善への取組

適用基準を満たす者にあつては、雇用保険及び労働者災害補償保険の労働保険に加入させていること。（法人にあつては、厚生年金保険及び健康保険に加入させること。）	<input type="checkbox"/>
---	--------------------------

(5) 任意組合である場合の公的計画等への参画

法人または特定農業団体ではなく、任意組合で申請するにあたり、3戸以上の農業者によって構成され、地域計画や人・農地プラン等で位置づけられた農業者、認定農業者又は認定新規就農者等を1戸以上含む場合、又は任意組合自体が地域計画や人・農地プラン等で位置づけられている場合は、チェックすること。	<input type="checkbox"/>
--	--------------------------

11 添付書類

「環境負荷低減のチェックシート」の他、地方農政局長等が必要と認める資料。事業実施主体が、地域計画に位置付けられている又は地域計画に位置付けられる見込みのある者であることが確認できる資料。

注) 交付等要綱第 18 第 1 項に定める実績報告に添付する際は、「国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業（飼料生産組織の運営強化支援のうち飼料生産組織の基盤強化支援）実施計画書」を「国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業（飼料生産組織の運営強化支援のうち飼料生産組織の基盤強化支援）実施報告書」に、「4 ○○年度組織の運営強化に要する経費」を「4 ○○年度組織の運営強化に要した経費」に、書き換えて提出すること。

また、記載内容は実績を踏まえたものとし、数値については計画と実績が容易に比較できるように変更部分を二段書とし、変更前を括弧書きで上段に記載すること。

なお、実績報告の際「8 全体の事業計画」、「9 事業実施主体の取組状況」は不要。

12 個人情報の取扱いの確認

<input type="checkbox"/> 同意する	<input type="checkbox"/> 同意しない
-------------------------------	--------------------------------

注) 以下 1 および 2 の記載について合意する場合は、同意するにチェックを記載。

(1) 個人情報の利用

農林水産省本省及び地方農政局（北海道にあつては北海道農政事務所、沖縄県にあつては内閣府沖縄総合事務局をいう。以下同じ。）及び本事業実施者は、国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業の交付金を交付するために、事業参加申込者から提供された個人情報を「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 58 号）」その他関係法令に基づき適正に管理し、本事業に係る交付金の交付事務のために利用します。

(2) 個人情報の第三者提供

農林水産省本省及び地方農政局は、事業参加申込内容を確認する他、飼料生産組織の実態把握のため、事業参加者の関係する地方自治体等に、必要最小限の参加申込内容を提供します。